

第 14 回社会保障審議会統計分科会疾病、傷害及び死因分類専門委員会（ICD 専門委員会）

2013 年 3 月 27 日（水） 厚生労働省

呼吸器 WG 進捗状況報告

呼吸器 WG：鈴木 勉、滝澤 始

1. 構造変更

他の TAG と協議中の下記の部分を除いてほぼ構造変更は完了している。

① Rare Diseases TAG と Pediatric TAG と協議中の部分

- Other respiratory diseases principally affecting the interstitium(level 2)
 - Acute respiratory distress syndrome
 - Pulmonary eosinophilia, not elsewhere classified
 - ✓ Idiopathic eosinophilic pneumonia
 - Idiopathic interstitial pneumonia
 - Primary interstitial lung diseases specific to infancy and childhood (proposed by Pediatric TAG)
 - Other interstitial pulmonary diseases

この構造については、この 3 月に再確認があり、呼吸器 WG の意見を Rare Diseases TAG と Pediatric TAG に提出。最終的なやり取りをしているところである。

② Paediatric TAG と協議した部分

- 8 月末に Pediatric TAG からの構造の追加変更依頼。9 月 10 月にメールでの協議が行われた。Rare Diseases TAG がかわる部分以外に関し、12 月に呼吸器 WG の最終のコメントを返答している。
- 最終的に ICD-11 β に取り込まれるかは、WHO の判断によると考えている。

③ 以下のオーバーラップエリアの構造は各 Primary TAG に準ずることとしている。

- Pulmonary heart disease and diseases of pulmonary circulation
 - Cardiology WG
- Neoplasm of the respiratory system
 - Neoplasm TAG
- Other diseases of the respiratory system and Developmental respiratory diseases
 - Rare Diseases TAG
- Sleep disorders of breathing and respiratory control
 - Other TAGs or WG

2. Definition

日本呼吸器学会用語委員会が中心となって、Level 3 と Level 4 の Definition 作成を昨年行い、12月に提出した。

Upper respiratory tract disorders の Definition に関しては耳鼻咽喉科、高橋 姿 ICD 専門委員に協力をお願いし作成した。高橋 姿 ICD 専門委員と耳鼻咽喉科の先生方の協力に感謝申し上げます。

2013年3月現在、呼吸器 WG が Primary である Definition は約 90%が ICD-11 に入力済みとなっている。呼吸器 WG で作成可能な部分の追加作成を現在行っている。

3. Terms and Body system(s)/part(s)

これからの確認となる。

4. Selection of reviewer(s)

これから日本呼吸器学会を中心に選ぶ予定である。